大木町立大木中学校

大木

学校だより

令和元年度
第９号（10月）
文責　校長　庄司保浩

自然体験学習を終えて

１年生は、９月26日（木）と27日（金）に佐賀県の「波戸岬少年自然の家」において１泊２日の自然体験学習を行いました。

目的は「集団活動に必要な規律を守り、個々の役割とその責任を果たして、集団生活の向上に努めることができるようになる」ことです。その目的に沿い、生徒代表の実行委員会は、「礼儀・責任　団結」というスローガンを立てて臨みました。

（写真右は入所式の様子）

初日は小雨混じりの曇り空でしたが、波のないコンディションの中で、カッター訓練（写真中）をすることができました。

ウォークラリーの活動（写真左）では、生徒たちは元気よく生き生きとした表情を見せながらチームで協力し合うことの大切さを学びました。また、８名の実行委員も経験を重ねる毎に、しっかりとリーダーシップを発揮し、その役割を果たしてくれました。

この活動を通して自然の雄大さや素晴らしさを体感して欲しい、みんなで声をかけ合い協力いて欲しい、一人ひとりが責任を持って行動して欲しい、楽しい中にも礼儀をきちんとして欲しいことを事前に伝えていましたが、生徒たちも意識して臨んでくれたことと思います。この体験を糧に、さらに成長して欲しいと願っています。

職場体験学習を終えて

２年生は、９月26日（木）と27日（金）に大木町内を中心とした38の事業所で職場体験学習を行いました。

目的は「地域での職場体験学習を通して、地域の産業やその特色を理解し、働く意義や働く喜びを実感する」ことです。

生徒たちが職場体験で学んだことは様々だと思います。わずか２日間の体験学習では「仕事の厳しさ」や「仕事の喜び」を感じることは少なかったかもしれませんが、「挨拶や礼儀の大切さ」「地域の人々とのふれあいの大切さ」「将来の仕事についての考え」「新しい自分の発見」など、何かを感じてくれたのではないかと思います。

将来の仕事に関心を持ち、より一層、協調性や責任感を身につけて、一歩ずつ大人に近づいて欲しいと願っています。

忙しい仕事の時間を削って受け入れていただいた事業所の皆様、本当にありがとうございました。生徒たちにとっては、自分たちが地域の中で育てていただいていることを実感できた２日間ではなかったかと思います。

大木町の未来を　大木町長へ提言

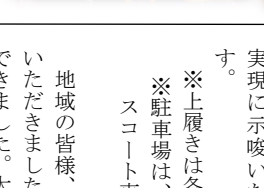
３年生は、９月３日～10月１日までの期間で環境学習（総合的な学習の時間）を行いました。

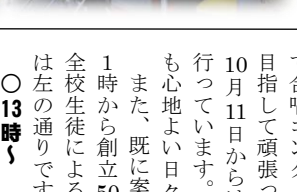
この環境学習は、「大木町が今まで取り組んできたことや課題を知り、未来の大木町について考え、発信することができるようになる」ことをねらいとし、３年生一四五名が36のグループに分かれて地域の方々から聞き取りを行いました。そしてそれをテーマ毎にまとめ、ポスターセッションという手法で発表し合いました。また、10月１日には来校いただいた大木町の境町長を前に、中学生が考える町づくりを提案しました。

境町長へ提案

36グループの発表

地域での聞き取り





これらの活動を通して、大木町がめざす未来に自分たちができることを考えるよい機会となりました。

環境学習に協力していただきました皆様、ありがとうございました。

合唱コンクール
創立50周年記念講演会のご案内

10月19日（土）に、第35回合唱コンクールを開催します。

今年は、一人ひとりの音色を一色一色の絵の具にたとえて、みんなの音の色で永遠に残る合唱コンクールを描きたいという思いから**「描こう音の色　～個々の音色を空に響かせ、未来を彩れ～」**というスローガンのもと、世界でひとつの音の色で合唱コンクールを彩ろうと、どの学級も本番を目指して頑張っています。

10月11日からは、帰りの会を延長して合唱練習を行っています。校舎中に歌声が響いていて、とても心地よい日々を過ごしています。

また、既に案内していますように19日は、午後１時から創立50周年記念講演や吹奏楽部の演奏、全校生徒による校歌斉唱を予定しています。内容は左の通りです。

○13時～　全校生徒による校歌斉唱
（吹奏楽部の演奏）
○13時5分～　吹奏楽部演奏
休憩
○13時45～　創立50周年記念講演
講師　モスフードサービス株式会社
代表取締役社長　中村栄輔　様
演題　「一生勉強　一生青春」

これからの次代を担う大木町の中学生の夢の実現に示唆いただけるものと楽しみにしています。

※上履きは各自で準備してください。
※駐車場は、アクアス西側の町有地広場かテニスコート東側をご利用ください。

地域の皆様、卒業生の皆様、保護者の皆様からいただきました寄付金は、目標額を超えることができました。大木中学校生徒のために必要な器具備品等の購入資金として有効に活用させていただきます。皆様からのご厚情に深く感謝申し上げます。